

## 鹿島建設サステナビリティボンド（第47回無担保社債）レポート

## ■発行後レポート（2回目）

## ①資金充当状況（2022年3月～2024年3月）

調達資金については全額適格プロジェクトに充当されるまで、調達資金の充当状況を示すレポートをウェブサイト公表を行う予定としており、内容は以下の通りです。

- ・適格クライテリアを満たす物件ごとの充当済金額
- ・充当済金額の合計
- ・未充当額

2022年3月8日に当社が発行した「鹿島建設株式会社第47回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（鹿島建設サステナビリティボンド）」によって調達された資金については、下表の通り適格プロジェクトにかかる資金の新規投資及びリファイナンスに充当しております。

（単位：百万円）

年月	項目	調達金額	充当金額	未充当残額
2022年3月8日	第47回無担保普通社債発行 （サステナビリティボンド）	9,947		9,947
2022年3月31日	SEP（自己昇降式作業台）型多 目的起重機船（SEP船）の建 造 （リファイナンス）		4,000	5,947
2022年3月31日	The GEARの建設 （リファイナンス）		3,700	2,247
2022年3月31日	The GEARにおいて推進する R&Dに要する施設・機器の設 置購入（リファイナンス）		800	1,447
2023年9月25日	SEP（自己昇降式作業台）型多 目的起重機船（SEP船）の建 造 （新規投資）		975	472
2023年10月25日	SEP（自己昇降式作業台）型多 目的起重機船（SEP船）の建 造 （新規投資）		472	0

※調達金額については本社債発行額から発行諸費用を除いた金額としております

また、当社は調達された資金の管理を財務本部資金部が行い、調達資金が適格プロジェクトにかかる資金の新規投資及びリファイナンスに充当されていることについて、財務担当役員である取締役から確認を得ております。

②インパクト・レポーティング（対象期間：2022年3月～2024年3月）

【グリーンプロジェクト】

プロジェクト名	SEP（自己昇降式作業台）型多目的起重機船の建造
概要	当社ホームページ「サステナビリティプロジェクトの概要」をご参照下さい <a href="https://www.kajima.co.jp/ir/grading/sustainabilitybond_top/index.html#anc_01">https://www.kajima.co.jp/ir/grading/sustainabilitybond_top/index.html#anc_01</a>
SEP 船の竣工	2023年9月に竣工しました。
SEP 船により施工された洋上風力発電設備設置基数の実績	2024年3月末時点では洋上風力発電設備を設置しておりません。2023年11月より北九州響灘洋上ウインドファーム建設工事で稼働を開始し、9.6MWの風車25基の基礎工事の一部と風車据え付け工事を行っております。

プロジェクト名	The GEAR の建設	
物件名	The GEAR (Kajima Lab for Global Engineering, Architecture & Real Estate)	
概要	当社ホームページ「サステナビリティプロジェクトの概要」をご参照下さい <a href="https://www.kajima.co.jp/ir/grading/sustainabilitybond_top/index.html#anc_02">https://www.kajima.co.jp/ir/grading/sustainabilitybond_top/index.html#anc_02</a>	
物件の竣工	2023年3月に竣工しました。	
取得認証の種類 及び認証水準	Green Mark Platinum Green Mark Super-Low Energy Building	認証取得済み 認証取得済み

【ソーシャルプロジェクト】

プロジェクト名	The GEAR において推進する R&D に要する施設・機器の設置購入	
概要	当社ホームページ「サステナビリティプロジェクトの概要」をご参照下さい <a href="https://www.kajima.co.jp/ir/grading/sustainabilitybond_top/index.html#anc_03">https://www.kajima.co.jp/ir/grading/sustainabilitybond_top/index.html#anc_03</a>	
設置した施設	鹿島技術研究所のシンガポールオフィス「Kajima Technical Research Institute Singapore」（KaTRIS）が5種類の研究室「ラボ」を設置しております。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Construction Robotics Lab（建設ロボットラボ）</li> <li>・ Digital Tech Lab（デジタル技術ラボ）</li> <li>・ Environmental Engineering Lab（環境・バイオラボ）</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Human Centric Design Lab (人間中心デザインラボ)</li> <li>• Urban Space Creation Lab (都市空間構築ラボ)</li> </ul>	
購入した機器	<p>ラボで実験をするために必要な装置・機器を購入しております。主な装置・機器は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アームロボットシステム (ABB)</li> <li>• 5G 設備 (SingTel)</li> <li>• HPC Cluster System (MorgenRot)</li> <li>• アナモックス菌培養試験装置 (丸菱バイオエンジ)</li> <li>• 万能試験機 (島津製作所)</li> <li>• 恒温恒湿室 (Espec)</li> </ul>	
取得認証の種類 及び認証水準	WELL Platinum Green Mark for Healthier Workplaces	認証取得済み 認証取得済み
研究成果の社外発表	<p>2024年3月までに発表した主な研究成果は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>K. Mihara</u>, Towards future cooling technologies with hybrid cooling and radiant cooling, BCA Technology Exchange on Alternative Cooling Technologies, 22th March, 2024</li> <li>• <u>C. Cheung</u>, Exploring Semi-Outdoor Workspace in Tropical Climates: Design and Operational Insights, Build Tech Asia 2024, 19th March, 2024</li> <li>• <u>T. Hasama</u>, Energy Saving Technology Towards ZEB and SLEB as a Private Construction Company in Singapore, EMAK Workshop 11: Transitions toward Net Zero Energy Building, 9th Feb, 2024</li> <li>• <u>H. Takasuna</u>, Project Showcase: What Singapore can learn from Kajima Global Hub on innovative projects shaping sustainability and urban agriculture, Urban Farming Seminar “When Architecture Meets Agriculture”, 1st December 2023</li> <li>• <u>K. Mihara</u>, <u>D. Hii</u>, <u>H. Takasuna</u>, and <u>K. Sakata</u>. How does green coverage ratio and spaciousness affect self-reported performance and mood? Building and Environment 245 (November 2023) 110939 1-12</li> <li>• <u>J. Morita</u>, Towards Future Architecture of Green and Smart Buildings, The 6th East Asia Energy Forum, 21st August, 2023</li> </ul>	